やすだ

議会だより

第187号
2026.11



職場体験しました！（中学3年生・7月）

令和８年９月定例会

町長行政報告 …… 2
一般質問　１氏が問う …… 5
町教育委員会委員の任命同意 …… 6
条例制定ほか …… 6
令和８年度補正予算 …… 6
令和７年度決算認定 …… 7

令和８年７月臨時会

契約締結変更 …… 8
令和８年度補正予算 …… 9

9月9日開会。町教育委員会委員の任命同意、条例制定、令和8年度補正予算、令和7年度一般会計・特別3会計及び簡易水道事業会計の決算認定等、10議案を審議、1氏が一般質問を行い、11日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

町営事業の進捗状況

◆各種事業の進捗状況◆

栄峯地区の生活用水供給施設整備事業が8月に完了し、頻発していた断水が改善され安定した生活用水の供給が可能となった。

本年度は、5年に1度の橋梁点検の実施、地域の要望である高刈りや舗装補修等に着手するほか、町道与床本田島線整備工事、道路メンテナンス事業(橋梁保全工事)、農地耕作条件改善事業、南海トラフ地震対策関連事業など、各種事業の早期実施に努める。

◆各種イベント◆

8月8日に開催の「今日はごめん・なはり線の日in安田の夢まつり」は、天候にも恵まれ、大変蒸し暑い中ではあったが、町内外から1000人を超える方々に来場いただき、子どもたちの元気な踊りや町の魅力あふれるグルメを堪能いただいた。

◆物価高騰対策◆

地域商品券配布事業「がんばるやすだ応援券」は、8月末現在で5298万3千円、使用率80・9%となっており、町内経済の活性化や生活支援に一定の効果が表れている。



今日はごめん・なはり線の日in安田の夢まつり2026

◆ふるさと納税◆

7月末現在の寄付額は、884万7千円で、昨年度を大きく上回る実績で推移している。今後も新たな返礼品の確保や寄付者への情報発信を強化し、自主財源の確保に努めていく。

◆地域公共交通◆

コミュニティバス「やすら号」の本年4月から7月までの運行状況は、路線定期運行では、東谷線が72便で274人、東島線が67便で271人となっている。

また、デマンド運行は、中里・中ノ川線含め、50便で76人の利用実績となっており、全体の利用者数は昨年同期と比較し減少となっている。

今後も、地域住民の身近な移動手段を維持していくため、積極的な利用促進に努める。

◆やすだソーラーパワー◆

令和7年度事業決算による株主配当収入は1136万円。社会貢献と収益の地域還元事業として、安田中学校1年生への防災グッズ、自主防災組織へポータブル電源の寄贈、小・中学校の児童生徒及び教職員用の防災用ヘルメットの寄贈を計画。

◆移住・定住促進対策◆

県が主催する移住相談会や県東部自治体合同の移住フェアへ参加するなど、移住者獲得に努めているほか、移住情報サイト「SMOUT(スマウト)」を活用し、本町の情報を積極的に発信している。

こうした取り組みにより、移住相談件数も年々増えて、

実際に本町を訪れ、暮らしや仕事を体験していただく機会も増えている。

特定地域づくり事業協同組合「うぇるかむ安田協同組合」について、組合員とも協議を重ねる中で、安定した派遣先の確保が進みつつある。今後は、新たな職員の確保と受入事業者の拡大に向け、引き続き支援を行う。

◆集落活動センター・多目的交流センター等の活動◆

「集落活動センターやすだ」の地域活動や交流の新たな拠点施設として整備を進めている旧安田郵便局の改修工事は、今月末の完成を予定している。

「集落活動センターなかやま」は、高知大学との連携事業「地域を学ぶＧＬＯＣＡＬプログラム」が、８月21日から27日までの日程で実施され、高知大学及び台湾の大学生19人が地域住民との交流を深めながら、中山地区の歴史や自然、文化について学んだ。

農山漁村振興交付金事業は、「リモコン式草刈り機の実証実験」や、高知大学との情報発信に関する調査研究について、これまでの取り組みの成果を取りまとめ、次年度以降の新たな事業展開につなげていく。

◆国民健康保険事業◆

令和12年度の保険料水準の統一に向け、県と各市町村において、賦課方式や事業費納付金の算定方法などの検討が進められている。本年度実施される保険料水準の統一に向けた中間報告を踏まえ、令和９年度から11年度までの保険税率について段階的な見直しを検討していく。

今後も、特定健診及び各種がん検診の受診率向上と健康意識の醸成に取り組み、医療費の適正化を図るとともに、国保制度の安定的かつ持続可能な運営に努めていく。



地域を学ぶGLOCALプログラム

◆農業振興対策◆

園芸用ハウス整備事業を活用し、26ａのハウス１棟が完成、若手就農者が作付け準備を開始している。

担い手確保対策は、11月に東京で開催される「新農業人フェア」に参加し、新規就農者の確保に努める。また、現在、指導農業士のもとで１人が研修を継続、町営サポートハウスではピーマン栽培、ＪＡサポートハウスではナス栽培の実践に取り組んでいる。

地域農業を担う30代から40代の方々と意見交換会を開催し、就農にあたっての課題や、安心して営農を続けるために必要な支援について意見をいただいた。今後は、いただいた貴重な意見を踏まえ、取り組むべき施策を整理し農業振興施策へ反映していきたいと考えている。

◆事業承継◆

高齢化や後継者不足等により事業者の減少が課題となる中、中芸地区商工会と連携して町内事業者へのアンケート調査を実施し、地域の課題を把握するとともに、事業承継を推進するアクションプランの策定に取り組む。

◆高規格道路整備等◆

阿南安芸自動車道奈半利安芸道路「安田～安芸間」は、トンネル・橋梁など大型構造物の設計や地質調査が実施されているほか、唐浜地区で用地取得が進められている。

「奈半利～安田間」は、現地協議を踏まえ、道路予備設計や水路・道路の機能復旧計画の検討が進められるなど、着実に事業進捗が図られており、地域の意見等を対策協議会で取りまとめ、諸対策事業の検討協議を進

めていく。
　主要地方道安田東洋線の整備状況は、瀬切工区で平瀬トンネル坑口付近の路側工事のほか、焼山工区や小川工区等で県道の二車線化に向けた道路改良工事が進められている。

◆南海地震対策等◆
　８月30日の町内一斉避難訓練は、熱中症警戒アラートの発表を受け、住民の皆さんの安全を最優先に訓練を中止し、地震発生時の身を守る基本行動「シェイクアウト訓練」を実施した。
　今後も、地域の実情や暑さ対策も踏まえ、防災訓練の時期や方法についても検討し、より安全で実効性のある訓練に取り組んでいく。

開かれた町政運営

◆対話と協働◆
　昨年度に引き続き、補助金を活用した防災対策の推進、耐震診断・家具転倒防止対策事業の周知徹底、地域ごとの避難訓練の実施の３項目を重点的に取り組む。
　また、日本郵便株式会社と業務委託契約を締結し、安田郵便局長及び正弘郵便局長が集落支援員として、地域住民との対話会や地域行事に参加し、防災士の資格を生かした防災意識の啓発や地域防災力の向上に取り組んでいただく。
　地域住民懇話会は、８月７日の西島地区から順次開催。本年度も、出前講座と一緒に実施している。
　町長室の開放日と中山支所での執務日は、４月から８月まで休日や夜間も実施し、15人が来庁。「町長への手紙」事業は、町広報紙で周知を行い、多くの声を町政に反映できるよう取り組んでいる。

教育行政の状況

◆学校教育◆
　「２０２６年度全国学力・学習状況調査」では、中学３年生は国語と英語で県平均と全国平均を上回ったが、小学６年生は国語・算数ともに県平均と全国平均を下回る結果となった。特に、記述式問題の正答率が低い傾向にあり、調査結果を分析し、児童生徒一人一人の学力や学習状況を踏まえた授業改善に取り組む。
　７月８日から10日までの３日間、中学３年生８人が、のいち動物公園など８事業所で職場体験学習を実施。
　安田小学校プールは、夏休み期間中の開放を予定していたが、水泳監視員の確保ができず中止とした。次年度以降は、ＰＴＡ等にも協力をお願いし、安全なプール開放の実施に努める。

◆社会教育◆
　生涯いきいき学習講座、芸能発表会、文化祭、寧浦全国色紙展の開催に向け準備を進めている。本年度の生涯いきいき学習講座は、２０２４パリ・オリンピック女子レスリング金メダリストで本県出身の桜井つぐみさんをはじめ、３講座を開催する。なお、桜井さんには講演に先立ち、安田小学校児童を対象としたレスリング体験教室も実施していただく。
　安田まちなみ交流館・和では、９月５日から来年３月７日まで、高松順蔵没後150年を記念した企画展を開催している。
　10月25日から開催される「よさこい高知文化祭２０２６」の期間中、企画展や町文化祭、寧浦全国色紙展を開催し、本町の歴史や文化を広く発信していく。
　町制施行１００周年記念事業として発刊した『新編安田文化史』の別冊「付編」の編集を進めており、本年中の発刊を目指している。



安田まちなみ交流館・和

一般質問 ここが知りたいQ&A

Q 中山間地域の事前復興計画の取り組みについて問う

A 令和12年度までに策定する



黒岩議員

問　安田町では現在、南海トラフ地震に備え、沿岸部や周辺地域を対象とした「事前復興まちづくり計画」の策定を、令和7年度から令和9年度までの3カ年の事業として進めている。

　一方、高知県では、本年新たに「中山間地域事前復興まちづくり計画策定指針」を公表した。この指針の目的は、令和6年に発生した能登半島地震を教訓としたものであり、道路の寸断による集落の孤立や、ライフラインの途絶、医療・福祉機能の低下、人口流出、地域コミュニティの衰退など、中山間地域には沿岸部地域とは異なる問題があり、これらの課題を事前に検討し、計画に反映するものである。

　私も中山地区に暮らす者として、災害が起きてから復興を考えるのではなく、平時から地域の課題や将来像を見据え、備えておくことが重要だと考えている。事前復興の考え方は、単に被災前の状態に戻すだけではなく、住民が希望を持って住み続けられる地域を築くための計画である。

　そこで、県の指針を踏まえ、現在進めている沿岸部と同様に、中山地区についても事前復興まちづくり計画策定を検討する考えはないか、町長の所見を問う。



黒岩町長

答　東日本大震災の被災市町村では、応急復旧対応や被災者支援などに追われ、被災地域における復興の姿を示す復興まちづくり計画を早期に策定することができず、復興事業の完了に長い時間を要し、住民や企業が疲弊し、まちを離れたり、避難先でそのまま定住したことで、被災地域の人口が減少した問題を受け、大規模災害後に速やかに復興まちづくりに着手できるよう、事前に計画を策定するもの。

　県は、令和4年3月に「高知県事前復興まちづくり計画策定指針」を定め、南海トラフ地震で甚大な津波被害が想定される沿岸19市町村は、計画策定に取り組むこととしており、本町は、令和7年度に着手し、現状整理、課題分析、基本方針（案）の検討を行い、今年度以降は対象地区の個別避難計画の作成、住民ワークショップなどを行い、令和9年度末に策定が完了する見込み。

　「中山間地域事前復興まちづくり計画」については、従来の事前復興まちづくり計画と同様、復興の遅れによる人口流出といった事態に加え、土砂災害による地域の孤立や被災場所での住宅の再建の難しさなど、中山間地域特有の課題への事前の備えをするものである。

　県が策定した「中山間地域事前復興まちづくり計画策定指針」は、持続可能なまちづくりを目指す「究極の事前防災」として、中山間地域を「中心集落」「周辺集落」「山間（奥部）」の3つのエリアに類型化し、それぞれの役割に応じた被災後のまちの姿を検討するものとなっている。本年度は、馬路村をはじめ県内5市町村で計画策定に着手しており、高知県南海トラフ地震対策行動計画において、令和12年度までに全市町村が策定することを目標としている。

　被災前に計画を策定することで、地域住民が希望を持って住み続けることができるまちづくりを早期に実現することができることは十分に認識している。

　まずは、沿岸地域における事前復興まちづくり計画を着実に進めながら、中山地区における事前復興まちづくり計画については、県の指針や先行事例なども参考に、集落の実情や課題に応じた計画の策定について検討したい。

人事

◆町教育委員会委員の任命同意◆

内容　町教育委員会委員4人のうち、1人の任期が9月30日で満了となることから、後任委員の任命について、現委員の再任同意を求めるもの。



南　一寛 氏
(54歳・安田)

審議結果…全員賛成（同意）

条例制定

◆集落活動センターやすだ設置及び管理に関する条例制定◆

内容　旧安田郵便局改修完了に伴い、新たな施設管理条例の制定を行うもの。
　新たに設置する施設の名称は「集落活動センターやすだ」として、多様な事業を行う拠点施設として地域活性化を図る。

審議結果…全員賛成（可決）

財産の取得

内容　配備後20年を経過した、町消防団中山分団の消防ポンプ自動車の購入にあたり、消防活動に必要な装備を配置するため入札参加資格要件を定めた、条件付一般競争入札の結果、株式会社　藤島と2764万3千円で契約。

審議結果…全員賛成（可決）



屋根防水工事を行う文化センター

補正予算

◆令和8年度町一般会計及び国民健康保険事業特別会計補正予算◆

内容　本年度事業に係る追加、減額措置を行うもの。
　補正の主な内容は、
◎一般会計（第3号）
○職員の人事異動等に伴う人件費の追加　586万円
○工場用地候補地選定調査委託料の追加　300万円
○光放送設備更新工事の減額　4500万円
○福祉医療システム改修委託料の追加　141万円
○担い手確保支援奨励金補助交付金の追加　156万円
○淡水漁業振興事業補助金の追加　100万円
○活性化センター設備更新工事の追加　329万円
○事前復興まちづくり計画策定委託料の追加　2706万円
○文化センター屋根防水工事

の追加　2253万円
○財政調整基金の法定積立金の追加　1350万円
○事業実績に伴う分水対策基金の積立金の減額　781万円
○新エネルギー事業推進基金への積立金の追加　1126万円　など

総額2100万円追加

補正後の予算総額
33億9650万円



味工房 じねん

◎国保会計（第1号）
○財政調整基金の法定積立金の追加　166万円　など

総額211万円追加

補正後の予算総額
3億9771万円

質疑

問（安並議員）
味工房じねんの浄化槽機器更新工事の内容は。

答 故障している送風機、スクリーン等の更新工事費である。

問（鶴田議員）
文化センターの防水工事の場所はどこか。

答 文化センター側の和室の上の辺りの屋根の部分、保健センター側の部分の陸屋根について防水塗装工事を行うもの。

審議結果…2件とも全員賛成（可決）

決算

◆令和7年度町一般会計及び特別3会計（国保・後期高齢・土地開発）・簡易水道事業会計の決算認定◆

内容

令和7年度決算額は、4会計歳入総額が38億1579万2千円、歳出総額が37億6235万9千円で、公営企業会計の簡易水道事業会計は、総費用額（支出）2億1301万9千円であり、各会計の決算状況は、※別表のとおりとなっている。

質疑

問（安並議員）
物価高騰が続く中、今後、ごみ袋の値上げは考えているか。

答 今年度、必要数の確保はできているが、原材料の高騰もあり、今後、値上げについては検討していく必要がある。

問（小松憲次議員）
桜坂団地の測量設計委託料が大幅減となっているが、その要因は。

答 当初、桜坂団地周辺が新たな宅地造成の適地として測量設計の委託料を計上したが、近年の物価高騰等を考慮し、現時点で造成工事費用の積算業務に内容を変更したため大幅減額となっている。

問（田之上議員）
お試し住宅施設の利用者は、電話、メール相談に加え移住フェアやSMOUTの活用により利用実績が上がっているが、実際に移住した方はいるか。また、移住につながらない課題はあるか。

答 施設利用者は、13組28人で、その中の3組4人の方が移住している。利用者にアンケート等実施しているが、本町の魅力の自然等に興味は示すものの、空き家バンクの物件とのマッチング等に課題があり、空き家のストックを増やすなど安田町の魅力を含

めてPRしていく必要があると考えている。

問（内川議員）
地籍調査事業は平成10年度から着手、令和14年の完了予定に向け、約75％の調査が終わっているが進捗状況は順調か。

答 国・県の補助金を活用して実施している。近年は要望どおりの補助金が確定しないこともあり、若干、進捗が遅くなっているが、一筆調査後、登記までスムーズに完了するよう計画的に実施する。

問（鶴田議員）
地域の農林水産物を活用した商品開発に取り組んでいるが、その内容はどのようなものか。

答 商品開発については、令和7年度は「わが町の特産品開発・販売促進事業助成金」を活用し、新商品の開発、既存商品の磨き上げ及び販売促進等に取り組む意欲のある団体・グループに対し2件の交付実績となっている。内容は、マンゴー大福を含めた大福の開発と、ゆずを使用したフィナンシェの開発に支援を行った。

別表　令和7年度　歳入歳出決算額　（単位:円）

区分	決算額		歳入歳出差引額
	歳入	歳出	
一般会計	3,386,471,189	3,335,781,578	50,689,611
国民健康保険事業特別会計	370,988,839	369,014,544	1,974,295
後期高齢者医療事業特別会計	56,864,592	56,251,037	613,555
土地開発事業特別会計	1,468,090	1,312,490	155,600
特別会計小計	429,321,521	426,578,071	2,743,450
合計	3,815,792,710	3,762,359,649	53,433,061

審議結果…5件とも全員賛成（認定）



令和7年度　簡易水道事業会計事業費用に関する事項
（消費税及び地方消費税抜き）（単位：円）

区分	金額
収益的支出	102,223,682
資本的支出	110,795,478
合計	213,019,160

第4回臨時会

令和8年7月8日開会、契約締結変更、一般会計補正予算を審議し、同日閉会した。

契約締結変更

◆集落活動センターやすだ拠点施設整備工事（建築主体）

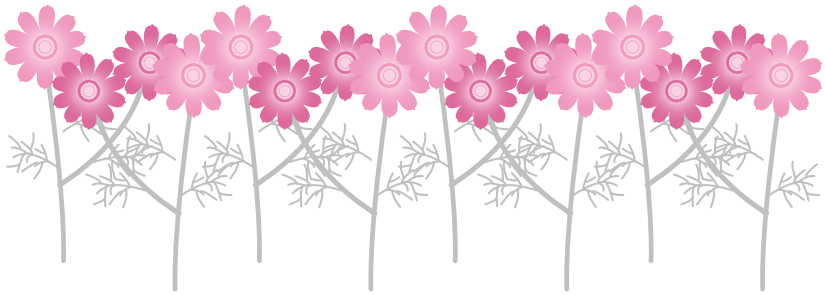
内容　施工中の本工事について、



集落活動センターやすだ拠点施設

施設解体後に判明した躯体等の不良及び安全性向上等の設計変更に伴い、744万7千円追加し、変更後の契約金額を5364万7千円とするもの。

審議結果…全員賛成（可決）



補正予算

◆令和8年度町一般会計補正予算（第2号）◆

内容

当面、その執行に緊急を要する必要が生じた事項について追加の措置を講じるもの。

補正の主な内容

○介護事業所物価高騰対応臨時支援給付金の追加　75万円

○子育て世帯臨時支援事業補助金の追加　220万円

など

総額380万円の追加

補正後の予算総額

33億7550万円

審議結果…全員賛成（可決）

表彰

このたび、小松憲次議員が、町村議会議員5期、20年の長きにわたり、地方自治の振興発展にご尽力された功績に対し、四国地区町村議会議長会より自治功労者表彰が贈られました。



小松憲次議員

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

＊次回の定例会は、12月上旬にひらかれます。

賛 否 表（令和８年９月定例会）

○：賛成　●：反対　欠：欠席　▲：除斥　―：議長

議案名	小松憲次	安並功裕	太田賢三	内川一則	田之上健太	小松延茂	中島瑞夫	黒岩円	鶴田亀代志	佐竹正利	可否
町教育委員会委員の任命同意	無記名投票（投票総数８票） 賛成８票、反対 ０票									―	同意
集落活動センターやすだ設置及び管理に関する条例制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	可決
財産の取得 （安田町消防団中山分団消防ポンプ自動車）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	可決
令和８年度町一般会計補正予算（第３号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	可決
令和８年度町国民健康保険事業特別会計補正予算 （第１号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	可決
令和７年度町一般会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	認定
令和７年度町国民健康保険事業特別会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	認定
令和７年度町後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	認定
令和７年度町土地開発事業特別会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	認定
令和７年度町簡易水道事業会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―	認定

賛 否 表（令和８年７月臨時会）

○：賛成　●：反対　欠：欠席　▲：除斥　―：議長

議案名	小松憲次	安並功裕	太田賢三	内川一則	田之上健太	小松延茂	中島瑞夫	黒岩円	鶴田亀代志	佐竹正利	可否
契約締結変更 （集落活動センターやすだ拠点施設整備工事（建築主体））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
令和８年度町一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決

議会のうごき

―７月―

23日＝中芸教育振興協議会総会（田野町）
24日＝第２回ごめん・なはり線活性化協議会総会（安芸市）
第２回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会（奈半利町）
29日＝四国８の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟夏期要望（東京都）
30日＝市町村議会議員研修（高知市）
31日＝第26回四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会（高知市）

―８月―

５日＝高知県町村議会議長会理事会（高知市）
町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会（高知市）
７日＝第１回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会臨時会（奈半利町）
８日＝今日はごめん・なはり線の日in安田の夢まつり２０２６（高知市）
18日＝議員行政実務研修（高知市）
20日＝総務教育常任委員会
21日＝産業厚生常任委員会
27日＝四国８の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟総会・整備促進大会（徳島県）
28日＝主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会高知県土木部長要望（高知市）

―９月―

２日＝議員協議会
４日＝議会運営委員会
議会広報編集委員会
11日＝議員のなり手不足対策特別委員会
12日＝安田町社会福祉大会
18日＝安田駐在所連絡協議会総会
20日＝敬老会
28日＝第３回中芸広域連合議会定例会
29日＝第64回四国地区町村議会議長会研修会（高知市）

―10月―

２日＝議会広報編集委員会
３日＝安田中学校体育大会
６日＝安田川分水対策委員会
８日＝四国四県町村長・議長大会（徳島県）
10日＝高知東海岸グルメまつり&鉄道の日イベント開会セレモニー（安芸市）
県選出国会議員と町村長・町村議会議長との意見交換会（高知市）
15日＝安田川分水対策問題に係る勉強会
議会広報編集委員会
16日＝集落活動センターやすだ拠点施設開所式

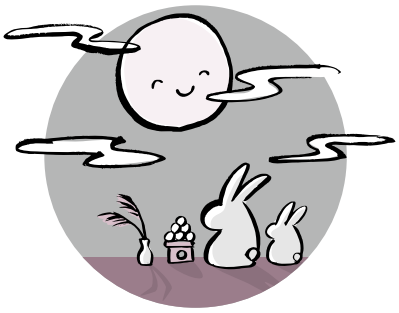
編集後記

旬の歳時記

秋を迎え、米の収穫時期となりました。昨年の「令和の米騒動」に端を発し、米流通に携わる関係者の思惑なども相まって、現在、市場は在庫過多となっており、令和８年度産新米が市場原理の影響を受け全国の産地で暴落しており、米農家にとっては厳しい秋を迎えております。

農家は、生産コストの高止まりによる経費負担に苦しみ、消費者も米価格高騰など、双方に相反した影響が出ております。今後、米は適正価格に落ち着いてくると思われますが、農家を取り巻く情勢は年々厳しくなると思われ、米価暴落に加え、高齢化による担い手不足など深刻な問題を抱えながら将来の希望が持てない中で、政府の対応を見守るしかない状況です。以前のように農家と消費者、双方が納得して日本人の主食である米をおいしく食べていただく日が来ることを願っております。

（編集委員　中島）



議会広報発行人

議長　佐竹　正利

議会広報編集委員会

委員長　内川　一則
副委員長　黒岩　円
委員　安並　功裕
委員　田之上　健太
委員　中島　瑞夫
委員　鶴田　亀代志

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生の両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日　令和8年8月20日

調査事項

①令和7年度総務課・地域創生課・教育委員会の主要事業の実績について

②その他　常任委員会の在り方について

経過

総務課・地域創生課・教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎移住促進事業について、移住定住促進計画初年度である令和7年度では、目標に沿った取り組みにより一定、移住・定住促進につながる基盤が構築されている。人口減少問題の対策は容易でないが、さらなる施策推進に努められたい。



総務教育常任委員会

産業厚生常任委員会

開催日　令和8年8月21日

調査事項

①令和7年度経済建設課・町民生活課の主要事業の実績について

②その他　常任委員会の在り方について

経過

経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、現地調査を行い、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎当委員会の所管する公共施設において、経年劣化により修繕を要するものも見受けられるが、老朽化等への対応だけでなく、どのように活用するかなど方策をもって計画的に管理されるよう望む。



産業厚生常任委員会